

《受難節第1主日》

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讚美歌21』を
使用しています。

前奏	
招詞	(讚美歌21: 93-1-32)
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	*下記をご覧ください。
讚美	17 ※1, 2のみ(聖なる主の美しさと) **
交読	『交読詩編』91: 1~16
信仰告白	使徒信条 *下記をご覧ください。
聖書	旧約 ヨエル書 2: 12~17 (旧約1423頁) 新約 マルコによる福音書 2: 13~22 (新約64頁)
祈り	
讚美	430 ※1, 2のみ(とびらの外に) **
説教	『新しいぶどう酒は新しい革袋に』 牧師 疋田國磨呂
祈り	
讚美	436 ※1, 2のみ(十字架の血に) **
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	**礼拝時間短縮の為、各讚美歌は短めとなります

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り^{ぬし}主、全能の父なる神を信ず。
我はその^{ひと}独り子、我らの主、イエス・キリス
トを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリ
ヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみ
を受け、十字架につけられ、死にて葬られ、^{よみ}陰府
にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に^{のぼ}昇り、全能の父なる神の右に^さ坐したまへ
り、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを
^{さば}審きたまはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交
はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえ
のいのちを信ず。

アーメン。